

暮らしの安心・安全を守るために!

この度の台風18号により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
 私たちは災害対策のための緊急財政措置として下記内容の補正予算を審議し、成立させました。

議員報酬の削減によって生じた7,900万円を 台風被害補正予算の財源に充当!

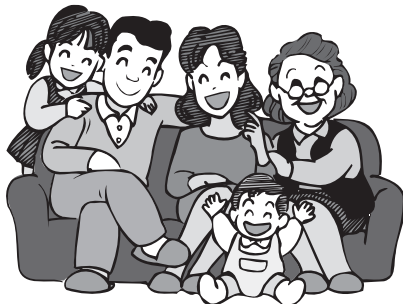
補正事業の全体像

項目	経費	
1. 被災者へのきめ細かな支援	2億9,100万円	被災者住宅等再建支援補助等
2. 被害を受けた民間社会福祉施設への復旧支援	300万円	被災民間社会福祉施設復旧支援補助
3. 被害を受けた中小企業者等への復旧支援	20億0,000万円	台風第18号緊急融資制度の創設
4. 道路等の都市・生活基盤の迅速な復旧	16億4,000万円	道路、河川、公園、浸水ごみ処理等
5. 早期に復旧した嵐山をはじめとする京都の観光PR	800万円	元気で京都キャンペーン事業(仮称)
小計	39億4,200万円	
6. その他	1億5,700万円	財政調整基金の取り崩し
	7,900万円	議員報酬削減充当分
合計	41億7,800万円	

平成24年度の歳出決算の全会計合計は1兆6,774億1,600万円に。

全会計の歳出決算規模

一般会計	7,265億	2,100万円
特別会計	6,872億	6,800万円
公営企業会計	2,606億	2,700万円
全会計合計	1兆6,744億	1,600万円



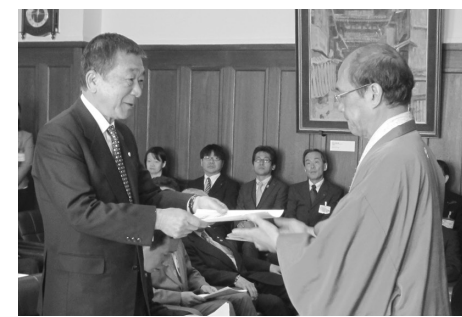
一般会計	公営企業会計	歳出決算規模	特別会計	歳出決算規模	
歳入総額	7,325億	4,800万円	国民健康保険事業	1,485億	8,600万円
歳出総額	7,265億	2,100万円	介護保険事業	1,070億	7,200万円
歳入歳出差引額	60億	2,700万円	後期高齢者医療	158億	2,900万円
翌年度に繰り越すべき財源	41億	6,200万円	基金	735億	2,600万円
(繰越事業費-未収入特定財源) (203億9,900万-162億3,700万)			市公債	3,087億	8,400万円
実質収支	18億	6,500万円	その他	334億	7,100万円
単年度収支	+4億	6,000万円	特別会計合計	6,872億	6,800万円
			公営企業会計合計	2,606億	2,700万円

*百万円未満を端数処理しているため、合計の一致しない箇所があります。

自由民主党京都市会議員団 市会報告 Vol.8

門川市長へ、平成26年度予算及び
市政方針に対する要望を提出!

京都御苑周辺の環境保全に関する
決議を可決!



自民党市会議員団は、9月市会最終日に平成26年度の予算、市政方針に対する要望を門川市長に提出致しました。昨年末の衆議院選挙、そして今年7月の参議院選挙において国民はハッキリと国益を損ね続けた民主党政権にNOを突きつけてきました。私も自民党は再び政権を担うべきだと考えています。そして、より謙虚に国政にのぞまなければならないと。そして、引き続き大変厳しい京都市の財政状況を踏まえながらも、未来に向けて京都市が限らない発展を遂げるための予算を編成していくことは、大変重要であると考えます。そして今回、京都市会最大大会派の責務として、市民の皆様への幸福に資するため、予算や市政運営について222項目の要望を致しました。



京都御苑東側の梨木神社敷地内でのマンシヨン建設計画が発覚し、市民の間には不安が広がっています。梨木神社は明治18年に創建され、三条実業・美実父子を御祭神とし、旧社格を持つ由緒ある神社であり、その参道に営利を目的としたマンシヨンが建設されようとしていることに、自民党京都市会議員団は、大きな違和感を感じています。当該地は、文化首都を自負し、双京構想を推進する京都市にとり、マンシヨン建設にふさわしい土地ではありません。一部の神社や寺院の維持管理が厳しい状況にあることは、京都市も十分認識する必要がありますが、先人に遺した大切な京都御苑周辺の環境を守り、次世代に引き継ぐことが、私たちの責務です。京都市会では門川市長に対して、マンシヨン建設計画の中止も含め、事業者との協議を行い、解決を図る努力を求める決議を賛成多数で可決致しました。

台風18号による豪雨災害に関する意見書を可決!



9月15日から16日にかけて台風18号が日本列島を縦断し、我が国で始めて京都市に大雨特別警報が発令されました。床上・床下浸水や道路の陥没、地下鉄東西線の冠水による4日間の運休や落橋など、市内各地で甚大な被害が発生しました。京都市会では被害に対しスピード感を持つ的確に対応するため、緊急財政措置として41億7,800万円の補正予算を成立させました。被災者の住宅再建支援や、中止企業等への金融支援、都市基盤の迅速な復旧、京都市の元気を全国へPRする経費などが予算の主柱です。また、農林災害復旧などについては状況が調い次第、第二弾の補正予算で対応する予定です。そして政府に対して特別交付税による復旧支援など、14の要望項目を掲げた意見書を全会一致で可決致しました。

京都の発展のために、さまざまな課題について門川市長に提案!

市長総括質疑での主な質疑内容(一部抜粋)

- 来年度予算編成への市長の見解と今後の取組への決意
- 経営健全化団体を脱した市バス事業の今後の展開
- 国家戦略としての京都創生の推進の具体的な取組内容とPRポスターの見直しの検討
- 保育園や要配慮者施設のための災害用ガイドラインの策定と災害情報をメール等により発信する必要性
- 学校現場で発生した事故の調査分析のための第三者委員会設置の仕組みづくりの検討
- 飼い主の認証制度創設など人間側の意識向上による人と動物が共生できるまち・京都の実現
- 小風力発電など自然エネルギーの普及拡大に関する事業者へのサポートと環境・景観政策の協調融合
- ごみ収集業務の民間委託化の推進
- 災害に強いまちづくりの観点からの細街路対策の充実
- 体育館の防災機能強化に係る予算の確保とスピード感を持った取組
- 指定消防水利の設置を目的とした廃校のプールの活用
- 京都府知事と京都市長による河川の整備等に関する懇談の考え
- 迅速な老朽管更新により有収率の向上を図る必要性
- 文化芸術を中心とする洛西地域のまちづくりに対する市立芸大移転の慎重な検討

決算特別委員会での主な質疑内容(一部抜粋)

決算特別委員会第1分科会

- 技能労働者の採用再開とごみ収集業務を公務員が行うことへの疑問
- 府市の類似施設の統合や連携、各局の府市関連事業における府市協調の一層の推進
- 耐震改修助成と連携した市民に利用しやすい省エネ改修助成制度の実施
- 台風18号襲来時における備蓄物資の配布、情報収集体制や関係部局間の連携等の危機管理体制の検証
- 公共施設の建設や運営に係るコストの情報開示を図り本市の取組への市民理解を得る必要性
- 市民にごみ減量の必要性を継続的に説明する姿勢の堅持
- 市民要望の多い街頭防犯カメラ設置促進補助事業の助成枠の拡大
- アーケードのある商店街への京都どこでもインターネット設置

決算特別委員会第2分科会

- 市長2期目のスタートの年である24年度の保健福祉局関連の決算の評価
- 高齢者の介護予防や医療費削減と、更なる活躍のための生きがい健康づくり複合施設の一体化運営
- 良質な保育環境を確保したうえで地域特性に対応した待機児童解消策を推進する必要性
- 施行から3年目となる子どもを共に育む市民憲章実践促進条例の見直しの検討状況
- 中学校教諭の指導力向上に向けた研究発表等校内研修の更なる推進
- 英語表記の採用など国際観光都市としての自転車対策の必要性
- 京都府警と連携したスピード感のある通学路安全対策の実施
- 屋外広告物適正化事業の進捗状況

決算特別委員会第3分科会

- 更なる市バスの増客を目指し積極的な取組を展開する必要性
- 乗降客数の多い駅におけるコトチカの店舗拡大の考え及び簡易型店舗の積極的展開の必要性
- 乗降客が少ない駅の地域特性に合わせた増客策の必要性
- 上下水道事業の経営の効率化を踏まえたくうでの責任ある直営体制を強化する必要性
- 下水汚泥処理の溶融炉に高額投資を行った経過を踏まえ汚泥再資源化品の販売努力及び新たな取組の必要性
- 地域水道の統廃合に係る政策的支援と予算確保の必要性
- 人員削減を行いながらも消防隊員の資質向上や優れた人材を確保する必要性
- 左京区山間地域の救急車配置計画と確実な防災対策を構築する必要性



私たち自民党市会議員団に
皆さんのご意見やご要望をお寄せください。
自民党
京都市議員団

TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
http://jimin-kyoto.jp/ Eメール jimin3@nifty.com